

# RYOBI®

## 建具用油圧角のみ機

DMC-200

DMC-200DX

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分にご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管して下さい。

# 本機械を安全に使用していただくために

機械を安全に使用していただくために、特に以下の安全上の注意事項を熟読のうえ、十分理解したうえで本機械を正しく安全に使用して下さい。

なお、本書及び本機械に使用している警告表示は、警告表示を効果的に行うために、取扱いを誤った場合などの人身への危害の程度を、次の2つのレベルに分類しております。

## ① 危険 (DANGER)

機械に接触又は接近する使用者、第三者などがその取扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、死亡又は重傷を招く差し迫った危険な状態。

## ② 注意 (CAUTION)

機械に接触又は接近する使用者、第三者などがその取扱いを誤ったり、その状況を回避しない場合、軽傷又は中程度の障害を招く可能性がある危険な状態。

### 1. 服装

⚠**危険**：機械への巻き込まれ事故を回避するために

- ・ 機械への巻き込まれによる重傷事故を避けるために、服装は長ズボン、袖閉まり、裾閉まりのよい上着、帽子を着用して下さい。  
手袋は、刃物の取り付け、交換の際に使用する以外は巻き込まれの原因となりますので絶対に使用しないで下さい。

### 2. 作業環境

⚠**危険**：転倒による機械の接触を回避するために

- ・ 転倒事故を防止するために、機械周辺の床には物を置かないで下さい。  
また、機械周辺の床は常に水や油で濡れていないようにして下さい。水や油をこぼした場合は、直ちに拭き取って下さい。

### 3. 据え付け

⚠**危険**：感電事故を避けるために

- ・ 漏電による重傷事故を避けるために、必ず接地（アース）をして下さい。

⚠**危険**：指、手等の切断事故を回避するために

- ・ 機械の不意の起動による重傷事故を避けるために、刃物の取り付け、交換の際には電源プラグを外し、かつ、元スイッチを「切り」の状態にして下さい。  
元スイッチとは、建物に取り付けてある電源スイッチのことで、起動スイッチのことではありません。以下文章の中では元スイッチと表示します。

⚠**注意**：本機械の不意の移動を避けるために

- ・ 加工中の機械の不意の移動による重傷事故を避けるために、基礎ボルトにより本機械を固定して下さい。

⚠**注意**：電源の誤配線を避けるために

- ・ 電源の誤配線による重傷事故を避けるために、電気工事については、電気工事士の免許のある方が必ず行って下さい。

#### 4. 操作方法

◇危険：指・手等の切断事故を回避するために

- ・ 角ノミとの接触事故を避けるために、テーブルとバイスの間に手を入れないで下さい。

◇危険：テーブルと加工材、バイスとの挟み込み事故を回避するために

- ・ テーブルとバイスの間に手を入れないで下さい。

#### 5. 保守・点検

◇危険：指、手等の切断事故を回避するために

- ・ 機械の不意の起動による重傷事故を避けるために、機械の保守・点検の際には電源プラグを外し、かつ、元スイッチを「切り」の状態にして下さい。
- ・ 角ノミとの接触による重傷事故を避けるために、必ず角ノミの回転が停止した後に保守・点検の作業を行って下さい。

#### 6. 清掃

◇危険：指、手等の切断事故を回避するために

- ・ 機械の不意の起動による重傷事故を避けるために、機械の清掃の際には電源プラグを外し、かつ、元スイッチを「切り」の状態にして下さい。
- ・ 角ノミとの接触による重傷事故を避けるために、必ず角ノミの回転が停止した後に清掃作業を行って下さい。

#### 7. 故障、異常

◇危険：指、手等の切断事故を回避するために

- ・ 機械の可動部分との接触による重傷事故を避けるために、機械の故障、異常に対処する際には電源プラグを外し、かつ、元スイッチを「切り」の状態にして下さい。
- ・ 角ノミとの接触による重傷事故を避けるために、必ず角ノミの回転が停止した後に修理・点検の作業を行って下さい。

#### 8. 部品の交換方法

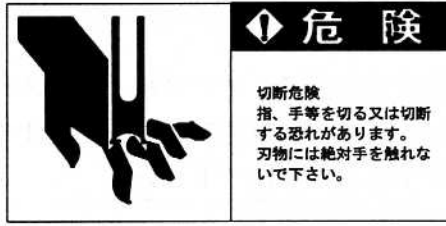
◇危険：指、手等の切断事故を回避するために

- ・ 機械の可動部分との接触による重傷事故を避けるために、刃物の取り付け、交換の際には電源プラグを外し、かつ、元スイッチを「切り」の状態にして下さい。
- ・ 角ノミとの接触による重傷事故を避けるために、必ず角ノミの回転が停止した後に部品交換の作業を行って下さい。

#### 9. 警告表示

◇危険：死亡又は重傷事故を回避するために

- ・ 本機械に死亡又は重傷事故防止のために、次の警告表示が貼付されています。警告表示の内容を十分理解するとともに、その取付位置を確認のうえ使用して下さい。

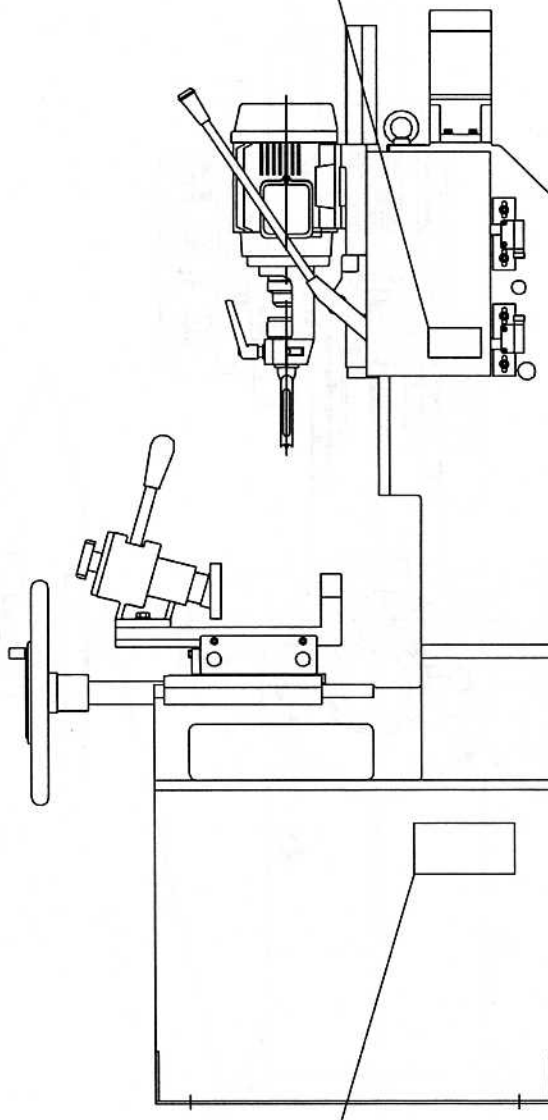
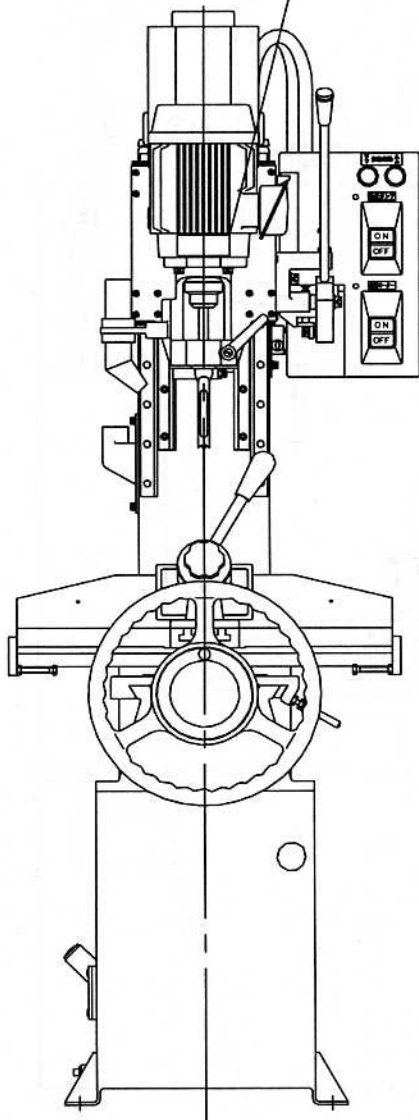


(DMC-200DXのみ)

**安全に機械を使うための注意**

1. 機械の据付け及び使用する前には、必ず取扱説明書を熟読し、その指示に従ってください。
2. 雨中での使用は避けて下さい。
3. アース（接地）してご使用下さい。
4. 機械に貼られた銘板の指示を守ってください。
5. 保護カバーや安全装置を取り外したままで、機械を使用しないで下さい。
6. 機械の点検や修理をする場合は、電源プラグを外し、かつ、元スイッチを「切り」の状態にしてください。
7. 使用後は電源を切り、機械及び機械周辺の清掃を行ってください。

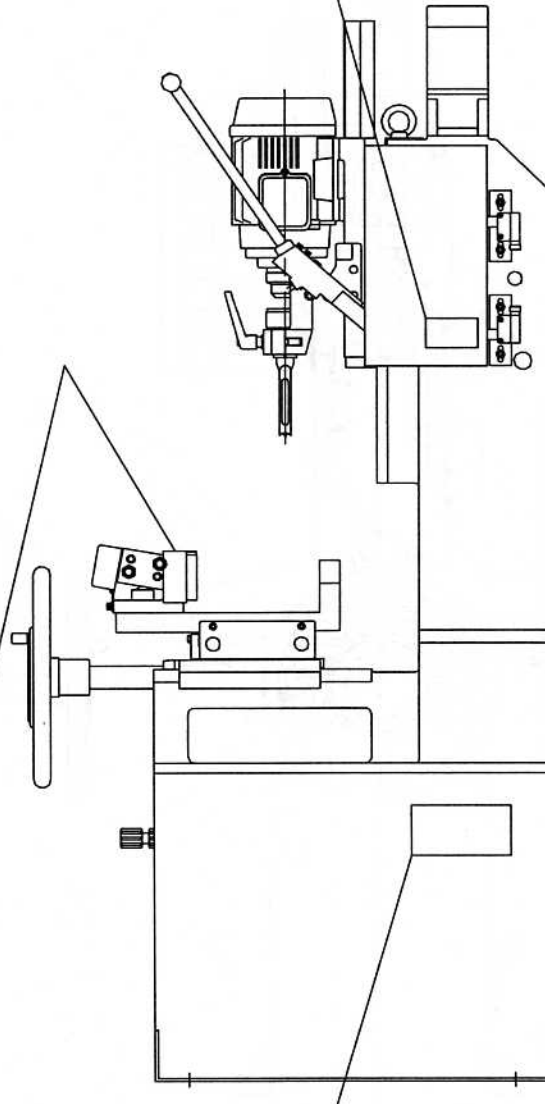
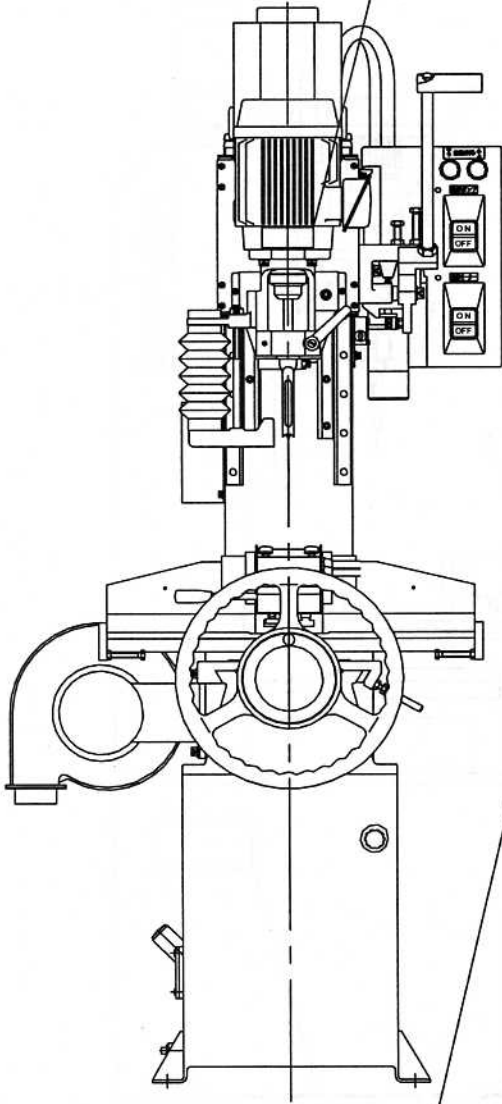
上記の注意事項を守っていただかないと、人身事故や機械の破損、加工物の破損につながります。



安全に機械を使うための注意

1. 機械の据付け及び使用する前には、必ず取扱説明書を熟読し、その指示に従ってください。
2. 雨中での使用は避けて下さい。
3. アース（接地）してご使用下さい。
4. 機械に貼られた銘板の指示を守ってください。
5. 保護カバーや安全装置を取り外したままで、機械を使用しないで下さい。
6. 機械の点検や修理をする場合は、電源プラグを外し、かつ、元スイッチを「切り」の状態にしてください。
7. 使用後は電源を切り、機械及び機械周辺の清掃を行ってください。上記の注意事項を守っていただかないと、人身事故や機械の破損、加工物の破損につながります。

DMC-200



**安全に機械を使うための注意**

1. 機械の据付け及び使用する前には、必ず取扱説明書を熟読し、その指示に従って下さい。
2. 雨中での使用は避けて下さい。
3. アース（接地）してご使用下さい。
4. 機械に貼られた銘板の指示を守って下さい。
5. 保護カバーや安全装置を取り外したままで、機械を使用しないで下さい。
6. 機械の点検や修理をする場合は、電源プラグを外し、かつ、元スイッチを「切り」の状態にして下さい。
7. 使用後は電源を切り、機械及び機械周辺の清掃を行って下さい。上記の注意事項を守っていただかないと、人身事故や機械の破損、加工物の破損につながります。

**DMC-200DX**

# 目 次

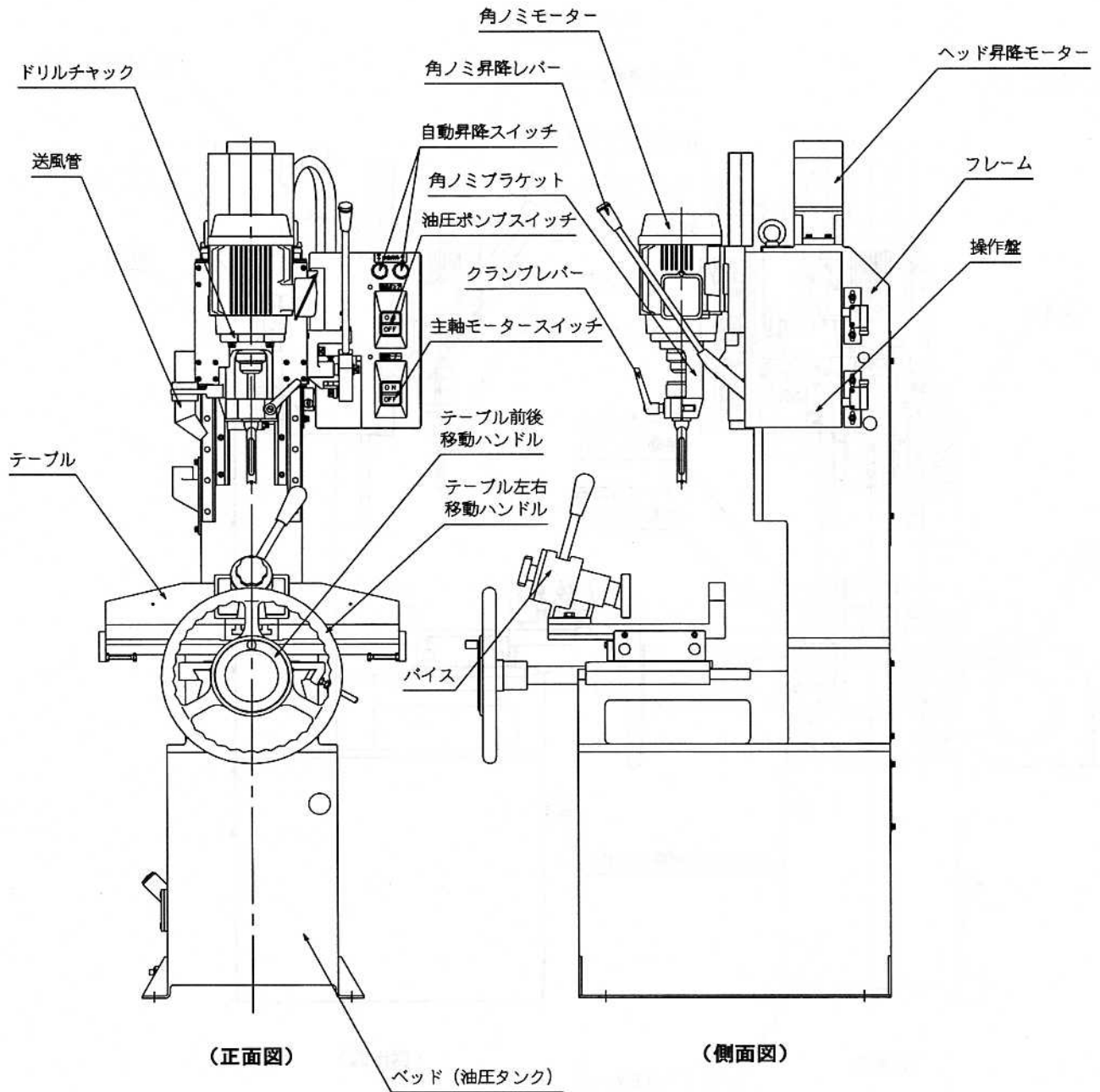
△機械を安全に使用していただくために	1
目次	
1. 機械の主要諸元 (仕様)	7
2. 機械各部の名称	8
3. 据付け	10
3-1 据付け・固定	10
3-2 電源の接続	10
4. 操作方法	11
4-1 角ノミの取付け	11
4-2 操作盤の操作	11
4-3 テーブル、バイスの操作	12
4-4 角ノミの昇降	13
5. 保守・点検	15
5-1 日常点検	15
5-2 月間点検	15
5-3 年間点検	15
6. 配線図、配管図	16
6-1 電気配線図	16
6-2 油圧配管図	17
7. 故障、異常の場合の対処方法	18
8. 部品リスト	20
9. 修理、補修の依頼	22

# 1. 機械の主要諸元

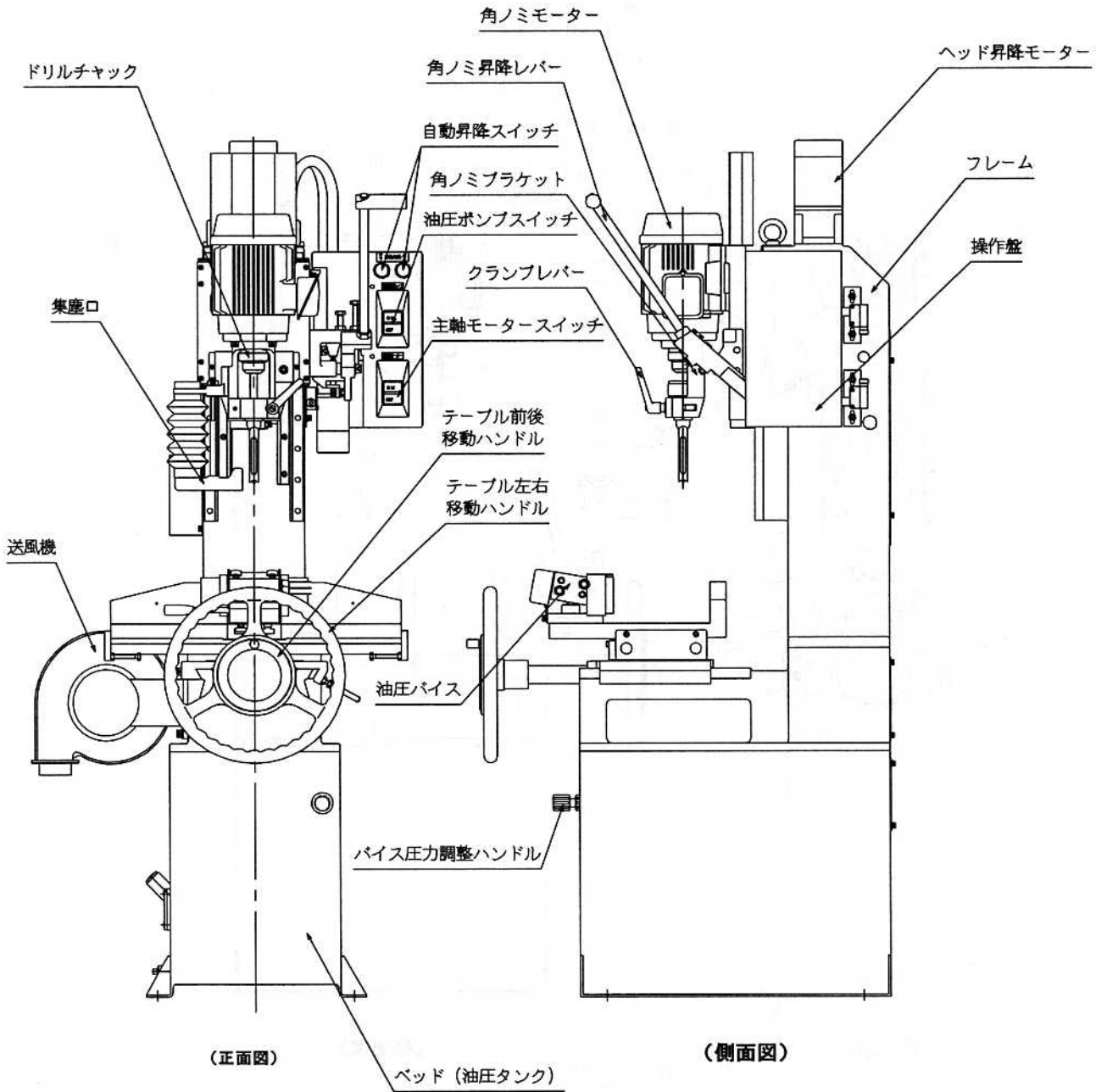
		DMC-200	DMC-200DX	
加工材料寸法	加工材の最大巾	200mm	200mm	
	加工材の最大高さ	250mm	250mm	
テーブル	テーブルの大きさ	550×200mm	550×200mm	
	左右の移動量	252mm	252mm	
	前後の移動量	キリ芯から103mm	キリ芯から103mm	
	床面からテーブルまでの高さ	722mm	722mm	
主軸	角ノミ寸法	3~21mm	3~21mm	
	角ノミ回転数	50Hz	2890min <sup>-1</sup>	2890min <sup>-1</sup>
		60Hz	3470min <sup>-1</sup>	3470min <sup>-1</sup>
	上下移動量	レバー操作降	100mm	100mm
		自動昇降	150mm	150mm
バイス	締付方法	手動レバー方式	油圧バイス	
油圧装置	油圧ポンプ	ピストンポンプ	ピストンポンプ	
	圧力	3.4MPa (35kg/cm <sup>2</sup> )	3.4MPa (35kg/cm <sup>2</sup> )	
	角ノミ用シリンダー	φ40×100mm	φ40×100mm	
	バイス用シリンダー	—	φ32×30mm	
	使用オイル	油圧作動油 VG32	油圧作動油 VG32	
	オイルの入る量	27L	27L	
使用モーター	角ノミ用	0.75kW 2P	0.75kW 2P	
	油圧用(油圧ポンプ内臓)	0.75kW 4P	0.75kW 4P	
	底ざらえ用	—	6W	
	排風機用モーター	40W	40W	
	自動昇降	90W	90W	
	集塵モーター	—	0.1kW	
	総所用電力	1.63kW	1.7kW	
機械寸法	巾	574mm	750mm	
	高さ	1656mm	1656mm	
	奥行	900mm	900mm	
機械質量		320kg	320kg	



## 2. 機械各部の名称



DMC-200

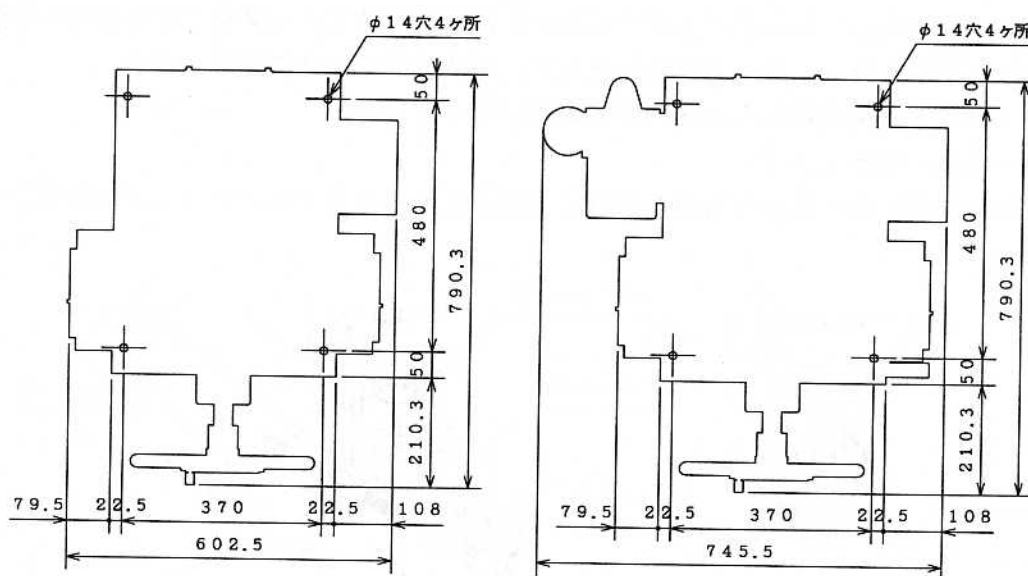


# DMC-200DX

### 3. 据付け

#### 据付け環境

- (1) 故障原因となりますので、高温、多湿、油煙、湯気が当たる場所は避けて下さい。
- (2) 本機械の周囲は、安全と作業能率のためにできるだけ広く空間を設けて下さい。
- (3) 本機械の水平を保つために、必ず基礎工事を行って下さい。



DMC-200

DMC-200DX

#### 3-1 据付け・固定

据付け場所は基礎工事の行った安定した場所に据付けて下さい。機械が振動、衝撃等により移動しないように基礎ボルト等により、本機械を必ず床面に固定して下さい。

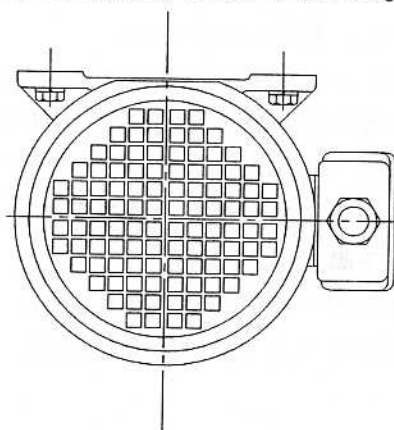
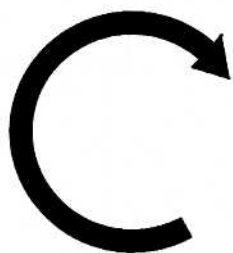
#### 3-2 電源の接続

電源の誤配線による重傷事故を避ける為に、接続工事は電気工事士の免許のある方が必ず行って下さい。又、漏電による感電事故を避ける為に必ず接地（アース）をお取り下さい。

回転方向の確認は必ず角ノミモーターで行って下さい。

角ノミモーターの上から見て矢印の方向方向へ回転すれば正回転です。

油圧モーターのスイッチで回転方向の確認はしてはいけません。



## 4. 操作方法

### 4-1 角ノミの取付け

◇**危険**：角ノミの取付け、取外しは、不意の起動による重傷事故を避けるために、すべてのスイッチを「切り」にして、角ノミが完全に停止してから行って下さい。

最初にブッシュをブラケットとブラケットフタにそれぞれ、はめ込みます。

角ノミケースをブッシュにあてがい、ブラケットフタで挟み込みます。

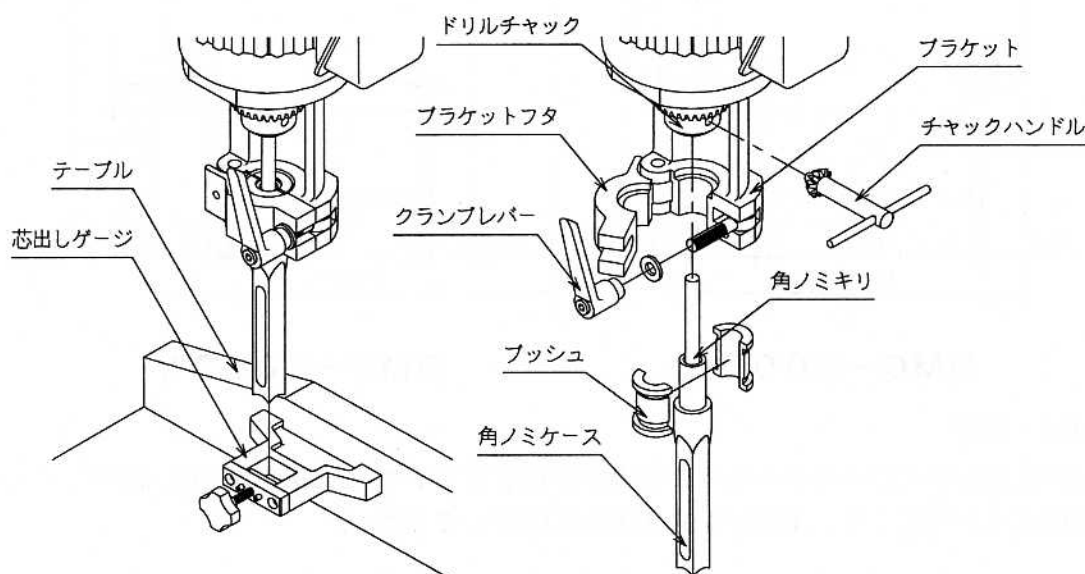
クランプレバーで仮締めしてから芯出しゲージをキリに取り付けてテーブルとの平行出しを行います。

次に角ノミキリを下から角ノミケースに差し込んで、ドリルチャックに固定します。

固定はチャックハンドルを使用し3ヶ所均等に締付けてください。

クランプレバーを増し締めします。

クランプレバーは手前に引っ張れば自由な位置に方向を変えられますのでグリップの部分が上になるようにして下さい。



### 4-2 操作盤の操作

#### ・ 角ノミの起動・停止

角ノミモータースイッチの「ON」を押すとモーターは回ります。

停止するときは「OFF」を押して下さい。

モーターの回転中はスイッチ銘板左の表示ランプが点灯します。

#### ・ 油圧ポンプの起動・停止

油圧ポンプスイッチの「ON」を押すとモーターは回ります。

停止するときは「OFF」を押して下さい。

モーターの回転中はスイッチ銘板左の表示ランプが点灯します。

油圧ポンプスイッチは過負荷保護装置付になっています。

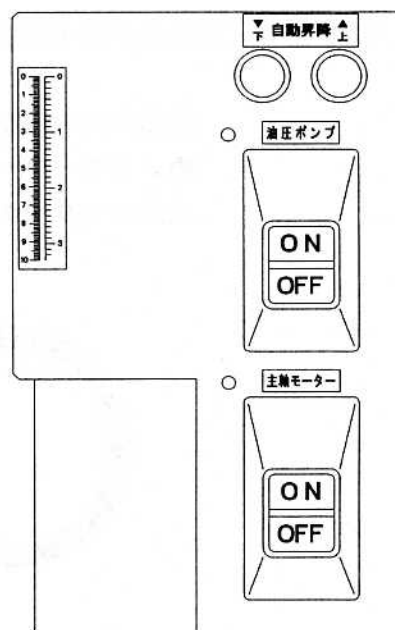
油圧ポンプに過負荷が働いたときはスイッチが切れます。

**原因を取り除いてから再度スイッチを入れて下さい。**

#### ・ 自動昇降の上昇・下降

上の押釦スイッチを押すとヘッド部は上昇します。

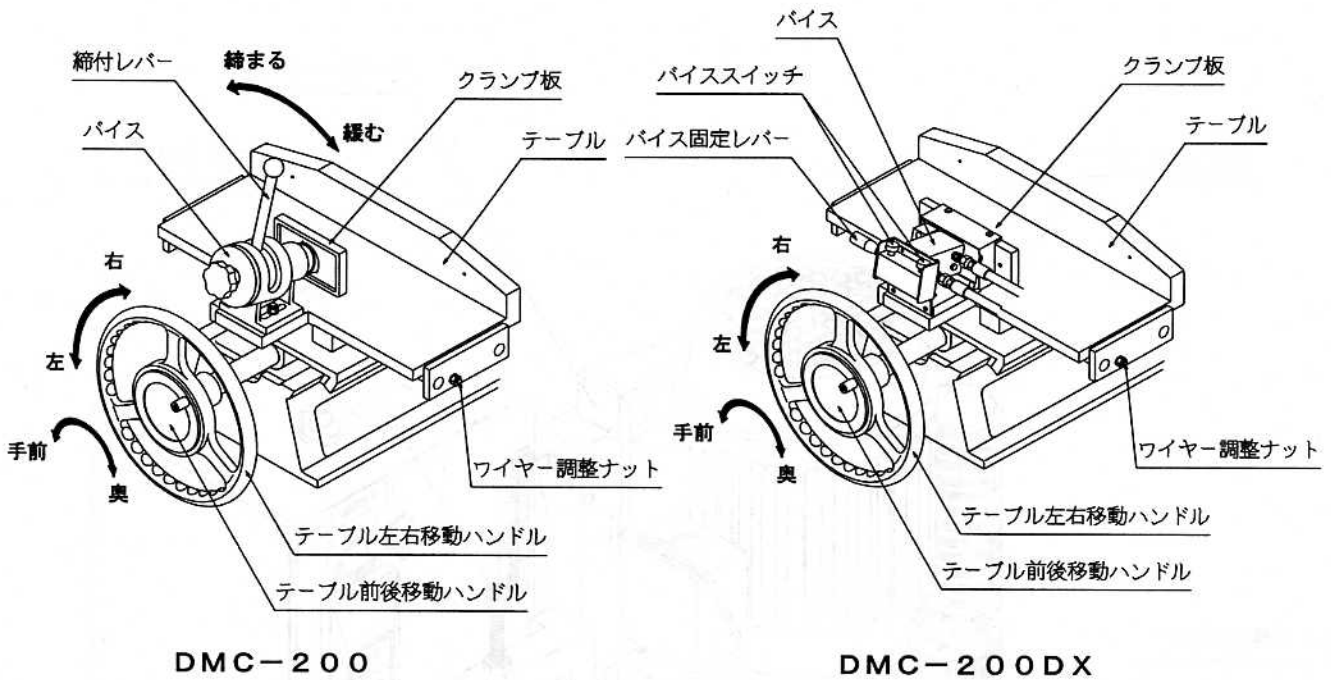
下の押釦スイッチを押すとヘッド部は下降します。



### 4-3 テーブル、バイスの操作

#### ・テーブルの移動

テーブル左右移動ハンドルを右に回すとテーブルは右へ移動します。  
 テーブル前後移動ハンドルを右に回すとテーブルは奥側へ移動します。  
 テーブルの左右移動はワイヤーを使用してバックラッシュを0にしています。  
 バックラッシュが出たら、テーブル横のワイヤー調整ナットを締めて下さい。



DMC-200

DMC-200DX

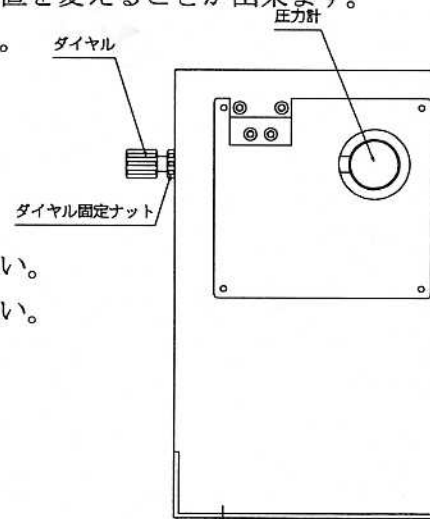
#### ・バイスの操作

◇危険：バイスで手をはさみ危険です。バイスの前後に手を入れないで下さい。

バイス固定レバーを左に回し緩め、材料巾に合わせて移動しバイス固定レバーを右に回し固定します。  
 バイス固定レバーは上へ持ち上げると自由な方向にレバーの位置を変えることができます。  
 バイススイッチの右側を押すとクランプ板で材料を締め付けます。  
 バイススイッチの左側を押すとクランプ板は戻ります。  
 材料を締め付けた状態で電源を切るとクランプが戻ります。

#### ・バイスの圧力調整

バイスの圧力調整は図の減圧弁のダイヤルを回して行って下さい。  
 まず、ダイヤル固定ナットを緩めて、ダイヤルを回して下さい。  
 右に回すと圧力は低くなります。  
 設定できる圧力は3.4MPaまでです。



#### 4-4 角ノミの昇降

##### DMC-200

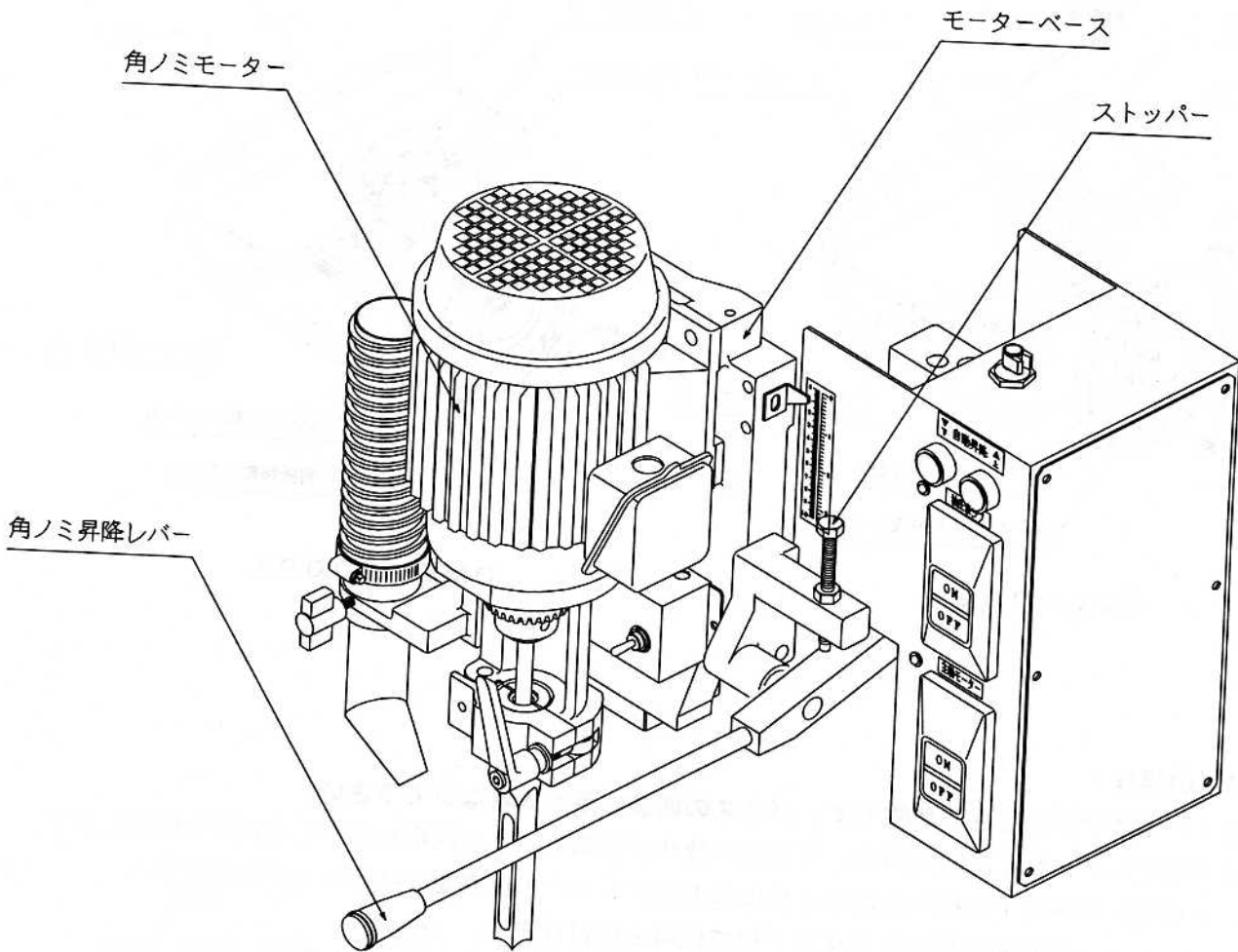
角ノミ昇降レバーを下げるとその量だけ角ノミが下がります。

レバーを停止すれば角ノミ昇降も止まります。

穴深さはストッパーで調整して下さい。

サーボバルブを使用している為、操作力は穴の大きさ、木の材質などに影響されず、常に一定です。

※ 油圧モーターの停止中はレバーは上がりません。又レバーを上げてモーターは上がりません。





## 5. 保守・点検

◇危険：指・手等の切断事故を回避するために

- ・ 機械の不意の起動による重傷事故を避けるために、機械の保守・点検の際には電源プラグを外し、かつ、元スイッチを「切り」の状態にして角ノミの回転が停止した後に保守・点検の作業を行って下さい。

### 5-1 日常点検

その日の作業を開始する前に、次の事項を点検して下さい。

1. 警告表示の状態を確認する。
2. カバー等の取付状態を確認する。
3. 刃物の切れ具合を確認する。
4. 刃物の締付具合を確認する。
5. テーブル回りのスライド面に給油を行う。
6. ヘッド昇降リニアガイドの掃除を行う。

### 5-2 月間点検

毎月1回、次の事項を点検して下さい。

1. スライドボール軸受部への油の塗布
2. 配線、配管の状態
3. 油もれのチェック
4. シリンダーロッドのゴミの付着を取り除く
5. 操作スイッチの状態

### 5-3 年間点検

年1回、次の事項を点検して下さい。

1. 機械各部の全体点検
2. 油圧タンク内のオイルの交換
3. リニヤガイドにグリスの給油をする。

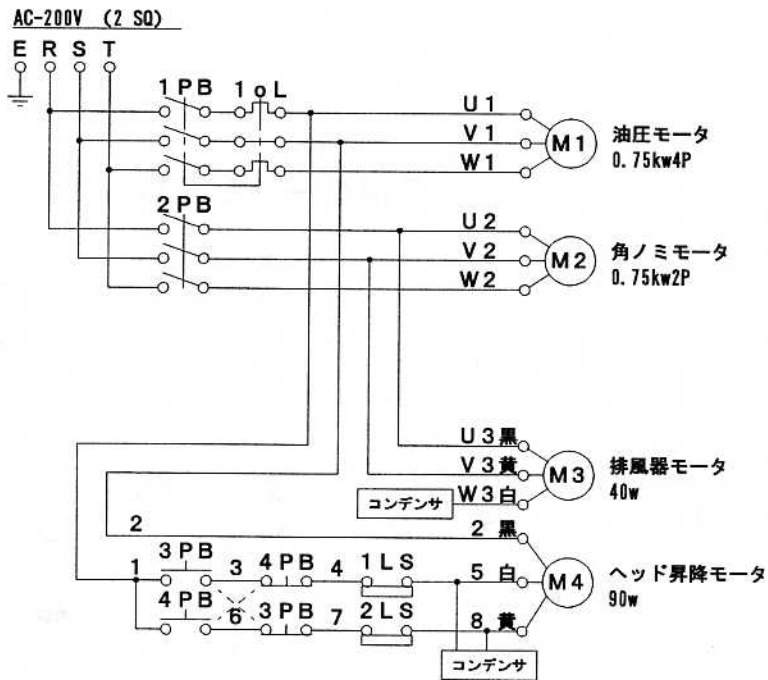
### オイルの交換方法

1. 油圧タンク側面のオイル排出口のプラグを緩めタンク内のオイルを出す。
2. プラグにシールテープ（漏れ止め用）を巻きオイル排出口のフタをする。
3. 給油口のフタを取り、油圧作動油VG32を入れる。
4. オイルゲージを見ながらオイルを入れHとLの間までオイルを入れる。
5. 給油口のフタをする。
6. 油圧モーターを回してからレバーを上下する。
7. 配管内の空気が出て音が静かになったらスイッチを切る。

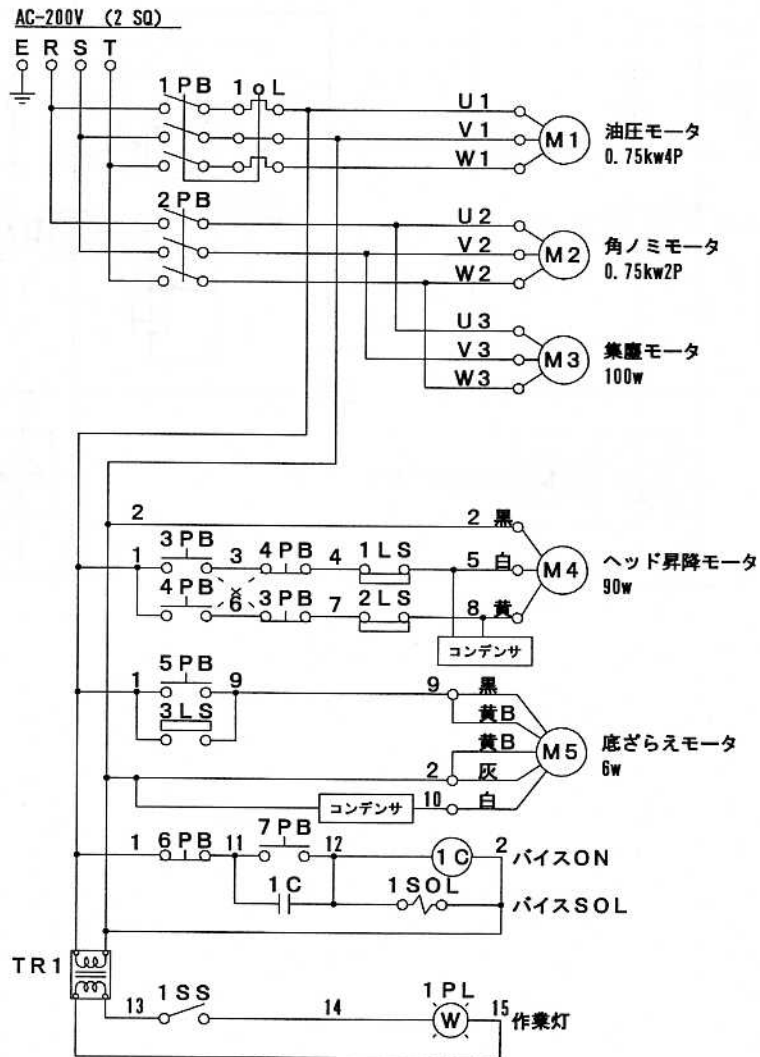


# 6. 回路図

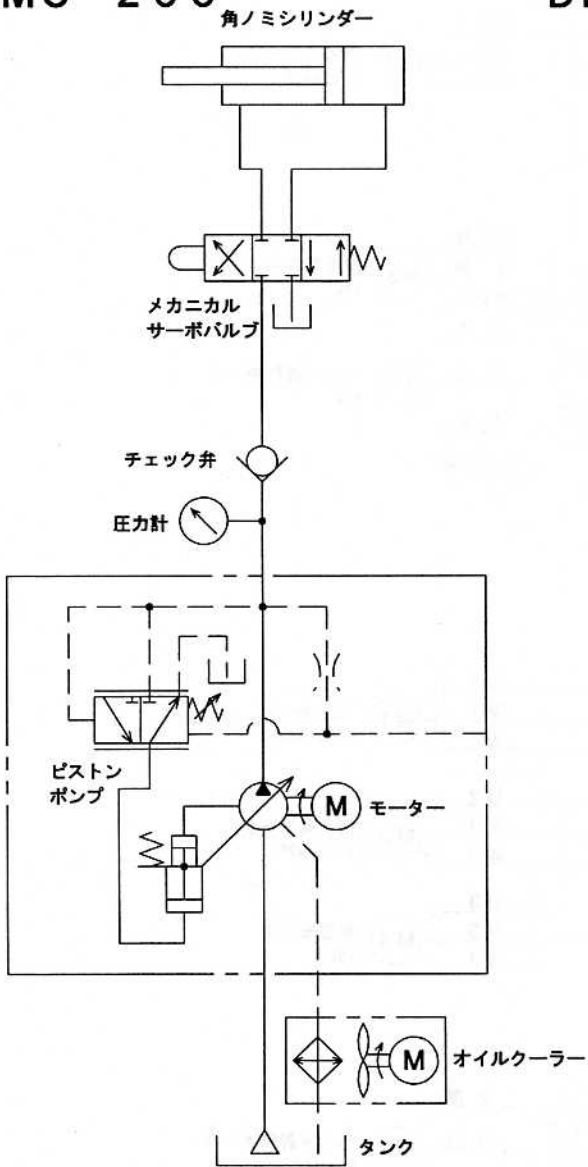
## 6-1 電気回路図 DMC-200



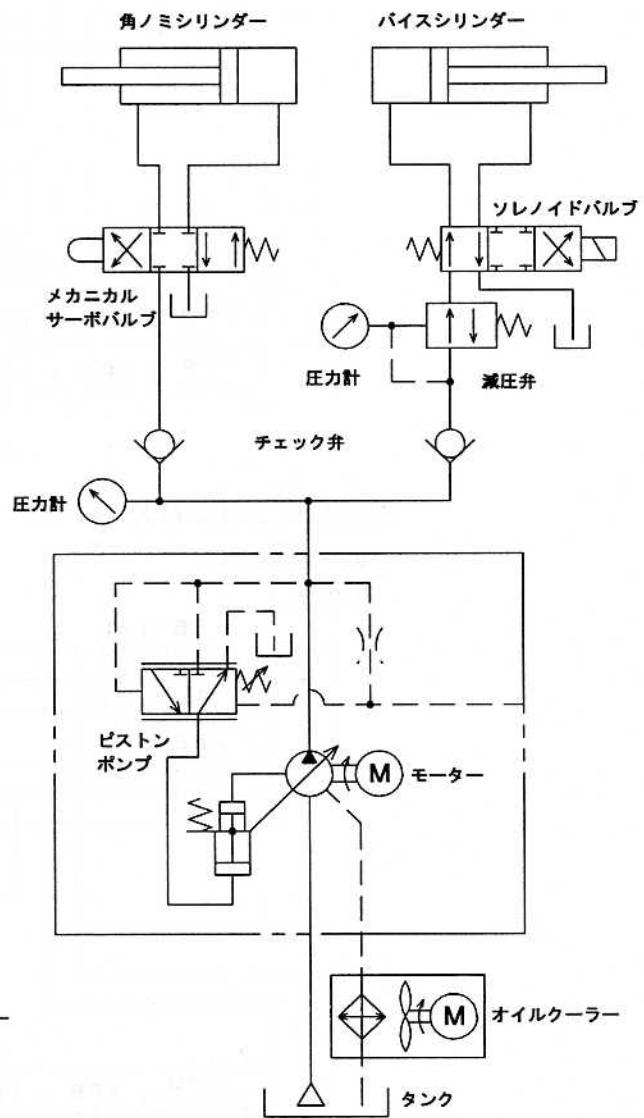
## DMC-200DX



DMC-200



DMC-200DX



## 7. 故障、異常の場合の対処方法

◆危険：指、手等の切断事故を避けるために

- ・ 機械の可動部分との接触による重傷事故を避けるために、機械の故障、異常に対処する際には電源プラグを外し、かつ、元スイッチを「切り」の状態にして下さい。  
角ノミ接触による重傷事故を避けるために、必ず角ノミの回転が停止した後に修理・点検の作業を行って下さい。

故障の場合や使用中に異常が生じた時は直ちに機械の運転を停止し、電源プラグを外し、かつ、元スイッチを「切り」の状態にして販売店に機械の運転の点検を依頼して下さい。

ただし、次のような現象の場合には、故障ではないことがありますので、以下のことをお調べください。  
なお、それでも具合が悪いときは、自分で修理せず、販売店に依頼して下さい。

機械を調べられる際には、次の点に留意して下さい。

1. 状況を十分把握してから点検、修理作業を行う。
2. 複数の作業者による共同作業が必要な場合は、事前に共同作業者と十分に打合せてから作業を行う。
3. 作業に合った適正な工具類を使用する。

故障、異常の内容	原因	対策
角ノミモーターが回らない	電源が入っていない	元電源を確認する。 プラグが外れている。
	角ノミとキリの間に木屑が挟まっている	木屑を取り除く。
	角ノミとキリのどちらかが曲がっている	角ノミを交換する。
自動昇降スイッチを押しても上下しない	油圧シリンダの取付板が油切れをしている	取付板に給油する。
	リミットスイッチが作動している	ストローク内で使用する。
	電源が入っていない	元電源を確認する。
レバーを下げてても角ノミが下がらない	電源が入っていない	元電源を確認する。
	回転方向が逆である	R S T相の3本線の内RとTを入れ替えて回転方向を変える。
	オイルの量が少なく、空気が配管内に入っている	オイルを足して回路内の空気を抜くために、ヘッドを上下させる。
ヘッドの昇降が遅い	リニヤガイドの油切れ	グリスを補給する。
	冬期は油の温度が低い ため流れが悪い	20分程度の暖機運転を行う。 冬期のみ粘度の低い油を入れる。
テーブルの左右にガタがある	テーブル移動用ワイヤーのたるみ	テーブル端の六角ナットを締め、ワイヤーを張る。
照明がつかない (DMC-200DXのみ)	ランプ切れ	ランプを交換する。
底ざらえが作動しない (DMC-200DXのみ)	レバーを下に強く押えすぎ	ヘッドが下がる程度の力で押える。
	カム板とバルブの油切れ	カムの上面に油を軽く塗る。

## 8. 部品リスト

### ・機械関係

( ) はDMC-200DX

使用箇所	部品名	規格	メーカー名	数量
フレーム部	リニヤガイド	LS20520AL2-PNZ3	NSK	2
	スラストベアリング	51106	NSK	2
テーブル部	スライドボールベアリング	SM20GUU-OP	NB	4
	回転グリップ	GMP-16×M6	NBK	1
	スラストベアリング	51103	NSK	1
	ニードルベアリング	TA1715	IKO	2
ヘッド部	クランプレバー	LDF-10-BK	NBK	1
	プラスチックバーノブ	KBM-38-M6×16	NBK	1
	プラ十字ノブ	KF-33	NBK	1
	長形グリップ	KD-10-B	NBK	1
	ラジアルベアリング	698ZZ	NSK	1
	ベアリング	F688ZZ	NSK	(1)
	スライドボールベアリング	SM10GUU	NB	2
	ドリルチャック	13mm	カト精工業	1
	ミニボールプランジャー	FP-8	NBK	(1)
	セットカラー	SC-1010	イワタ	(1)

### ・油圧関係

( ) はDMC-200DX

使用箇所	部品名	規格	メーカー名	数量
ベッド部	ローターポンプ	RP08A1-07-30	ダイキン	1
	オイルクーラー	DCR10B-10	ダイキン	1
	サクシオンフィルター	SFG04	ダイキン	1
	インラインチェック弁	HDIN-T03-05	ダイキン	1
	オイルゲージ	KL-60	協和	1
	オイル栓	KRM-B25	協和	1
	圧力計	DU2-60-PT1/4-150K	ダイイチ	1
	圧力計	A1.5TPT1/4×50×100	ダイイチ	(1)
	Pポート減圧弁	MG-02P-03-50T	ダイキン	(1)
	電磁操作弁	KSO-G02-2BB-30	ダイキン	(1)
	インラインチェック弁	HCV102	タイヨー	(1)
テーブル部	油圧シリンダー	35S-12SD32S35N30オネジ	タイヨー	(1)
ヘッド部	油圧シリンダー	561-05-326	常盤	1

・電気関係

( ) はDMC-200DX

使用箇所	部品名	規格	メーカー名	数量
ベット部	ミニコントロールリレー	HH52P-A2	富士	(1)
	リレー用ソケット	TP58XI	富士	(1)
フレーム部	電動送風機	EP63S	昭和	(1)
	レバーシブルモーター	5RK90GU-CF	オリエンタル	1
	ギヤヘッド	5GU9K	オリエンタル	1
	リミットスイッチ	D4E-1D20N	オムロン	2
	シロッコファン	MB8Z-D3	オリエンタル	1(0)
テーブル部	押釦スイッチ	VAQ-15A-L	オムロン	1
	押釦スイッチ	VAQ-15G-L	オムロン	1
ヘッド部	押釦開閉器	AS-480	富士	(1)
	押釦開閉器	AS-482 7A	富士	(1)
	押釦スイッチ	AR22FOR-11G	富士	(2)
	表示灯	NB276G	マルヤス	(2)
	角ノミモーター	0.75kW 2P	常盤	(1)
	電磁ブレーキモーター	2RK6GN-CM	オリエンタル	1
	リミットスイッチ	D4MC-5040	オムロン	1
	押釦スイッチ	VAQ-4G-L	オムロン	1
	切替スイッチ	S-6A		1
	電球ソケット	MR6001クロ		1
	電球	110V 15W フロストT22E17		1
	トランス	NYS-30	アイハラ	1

## 9. 修理、補修の依頼

### 1. 修理を依頼される場合

「7. 故障、異常の対処方法」をよく読み、再度調べた上、なお異常がある場合には、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所へ修理を依頼して下さい。故障の場合は、そのまま放置するのは危険ですので、電源プラグを外してお買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所へ修理を依頼して下さい。

修理によって機能が維持できる場合は、要望により有料修理を致します。

修理を依頼するときは、次のことを知らせて下さい。

- ・種類 建具用油圧角のみ機
- ・形式 DMC-200, DMC-200DX
- ・製造番号
- ・購入年月
- ・故障の状態（出来るだけ詳しく）
- ・会社名及び担当者名
- ・機械設置場所住所
- ・電話番号

### 2. 消耗品及び交換部品について

本機械の消耗品及び交換部品については、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所へ依頼して下さい。

## 営業所一覧

●リョービパワーツールのご相談は、お買い求めの販売店もしくは、下記最寄りのリョービ販売営業所へお気軽にお問い合わせください。

### 北日本営業部

札幌営業所 ☎<011>812-3751  
仙台営業所 ☎<022>237-6231  
秋田駐在所 ☎<018>829-3971  
郡山営業所 ☎<024>939-6101  
新潟営業所 ☎<025>275-3321  
帯広営業所 ☎<0155>41-0414  
青森営業所 ☎<017>729-0465  
盛岡営業所 ☎<019>646-8911  
山形営業所 ☎<023>642-9552  
長岡営業所 ☎<0258>30-4063

### 関西営業部

高槻営業所 ☎<072>681-3661  
舞鶴駐在所 ☎<0773>62-0588  
和歌山営業所 ☎<073>472-8074  
京都営業所 ☎<075>672-1221  
大阪営業所 ☎<06>6748-5171  
神戸営業所 ☎<078>924-8050

### 関東営業部

埼玉営業所 ☎<048>624-4605  
宇都宮営業所 ☎<028>624-6862  
佐野営業所 ☎<0283>21-1266  
厚木営業所 ☎<046>248-6724  
横浜営業所 ☎<045>921-5252  
国立営業所 ☎<042>574-8131  
前橋営業所 ☎<027>254-0022  
茨城営業所 ☎<0299>24-2631  
東京北営業所 ☎<03>3927-5571  
千葉営業所 ☎<043>262-1581  
柏営業所 ☎<04>7176-3671

### 中四国営業部

広島営業所 ☎<082>823-1733  
米子営業所 ☎<0859>34-7271  
福山営業所 ☎<084>943-5656  
高松営業所 ☎<087>865-8101  
徳島営業所 ☎<088>664-3317  
鳥取営業所 ☎<0857>22-1071  
岡山営業所 ☎<086>241-2581  
防府営業所 ☎<0835>22-6448  
松山営業所 ☎<089>956-3330  
高知営業所 ☎<088>880-6008

### 中部営業所

名古屋営業所 ☎<052>807-1631  
小牧営業所 ☎<0568>75-6781  
静岡営業所 ☎<054>246-6907  
松本営業所 ☎<0263>26-8699  
金沢営業所 ☎<076>268-7516  
福井営業所 ☎<0776>21-4037  
三河営業所 ☎<0564>25-2381  
津営業所 ☎<059>235-0595  
浜松営業所 ☎<053>441-3360  
長野営業所 ☎<026>244-3595  
富山営業所 ☎<076>422-1920

### 九州営業所

福岡営業所 ☎<092>623-5010  
久留米営業所 ☎<0942>44-1615  
宮崎営業所 ☎<0985>24-1070  
大分営業所 ☎<097>538-3258  
沖縄営業所 ☎<098>875-2850  
熊本営業所 ☎<096>365-7311  
北九州営業所 ☎<093>561-7206  
鹿児島営業所 ☎<099>266-0373  
長崎営業所 ☎<095>839-5466

<2003年4月現在>

# RYOBI

リョービ販売株式会社